



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

3月定例会 開会3/7、 常任・予算委13,14,17,18、 予算委20、 閉会3/26の予定

山下市政3期目
スタート！

次年度はどんな施策に力点？

昨年は補正予算を巡り市長から再議が提案され（生駒市議会では初めて）、定例会の会期を6日も延長しました。次の3月定例会では、南こども園、北部スポーツタウン事業、高山スーパースクールゾーン構想などの新たな計画や次年度策定される総合計画後期計画に関連した予算が提示される見込みです。予算案については2月27日の午

後1時から議会に対し説明会があります（傍聴できます）。7日の開会日には3期目がスタートした山下市長の所信表明と26年度の主な施策について概要説明があります（インターネットや市役所1階のテレビでご覧になれます）。私も新年度を前にしっかり審査に臨みたいと思います。本会議・委員会は午前10時～。正式な日程は3/4の議会運営委員会で決定。

12月議会【伊木の一般質問】 さらなる高齢化に備え 生駒市独自の地域包括ケアシステム構築を！



【沢内村】 映画『命の山河』のモデルとなった東北の村(町村合併で現在はありません)。乳幼児の死亡ゼロに村を挙げて取り組み昭和37年に実現。岩波新書「自分たちで命を守った村」で紹介

ホームページも
ご覧ください。
<http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai>

約10年後、団塊世代が後期高齢者(75歳以上)の仲間入りをする年には、介護保険の利用者数は1.5倍に増加、介護保険料は月額8,200円(H24年度全国平均4,972円)になると予測されています。財源や人手がいくらあっても対応の困難な時代が来ます。保健、医療、介護、地域生活の支援サービスなどが連携しあって住民の暮らしを支えていくこと、すなわち【地域包括ケア】が、生駒市の状況に応じ構築されること【生駒市独自の地域包括ケアシステムの構築】が必要です。

伊木：本市の地域包括ケアの課題は？
福祉部長：医療と介護の連携です。
伊木：治療を終えて退院しても在宅での療養や介護がうまくいかなければ病気が悪化します。25年8月、日本医師会と四病院団体協議会は提言『医療提供体制について』の中で「患者の命を守る質の高い医療を目指すと共に生活の質を重視し、患者を支える医療を実践する。このため、地域の医療・介護・福祉との連携の下、地域包括ケアシステムの実現に向けて、在宅医療を含めた地域特性に合わせた柔軟な医療提供体制を構築する」としています。

本市も市立病院の開院を機に、庁内の体制を再編し、医療連携を推進する課を含む地域包括ケア部を新設してはどうでしょうか？

市長：じっくり検討したい。

伊木：各地で災害時に強い電子カルテなどITを活用した医療連携が進められている。本市でも検討してください。

伊木：生駒市は財源をやりくりし市民のために救急医療・小児医療の充実、地域包括ケアの充実に取り組み、平成版沢内村とでも言うような「自分たちで命を守り、超高齢社会を乗り切ったまち“生駒”」を目指して下さい。

将来世代の負担にならないように10年先を見越した今からの対応を！

2月25日、開宴
歌声も満載！

第4回

いこま国際音楽祭



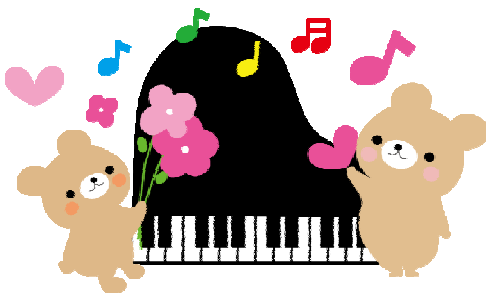
みんなで育てよう、まちの音楽祭！

この音楽祭は、4年前、ドイツ在住で生駒にゆかりのあるピアニストの韓（はん）かやさんに生駒市が平城遷都1300年記念の音楽祭の監督をお願いしたことから始まりました。

『生駒の子ども達に音楽のすばらしさを伝えたい、子ども達の心を音楽でもっと豊かに育てたい。言葉、習慣、国境その他のすべての壁を音1つで無くしてしまえる、そんな音楽を生駒から世界に発信したい。』と韓かやさん。

今回も、韓かやさんを音楽監督に迎え、市民ボランティアからなる実行委員会が6日間にわたる音楽祭の開催に向け取り組んでいます。これまでバッハ、ベートーベン

など多くの作曲家の音楽が紹介されました。今回はシューベルトの曲や歌



問題提起して6年半

生駒市医師会から医療救護計画提出！

今年、阪神淡路大震災から丸19年。私は議員になって初めての定例会で災害時の医療体制を質問。市は生駒市医師会と昭和63年に医療救護協定を結んでいましたが、医師会からは協定に基づく医療救護計画が一度も市に提出されていないこと、災害時には最多で市内の8中学校に救護所設置を予定しているにもかかわらず医師会の医療救護班は5班しかないこと、医療救護班の医師を福祉健康部長が指揮することにびっくり！ 医師のいない救護所に集まった負傷者は

どうなるの？ 市の職員が医師を指揮できるの？ 以来、8班体制や指揮命令系統の見直しなど、医療救護体制整備を再三要望。昨年12月、生駒市医師会から『生駒市医師会医療救護計画』が提出されました。医療救護班が8班編成になり、また、生駒市医師会会長が医師会災害対策本部の長を勤められ全ての医療救護活動が円滑に行われるよう総合指導されることになりました。一安心です。先生方どうぞよろしくお願いします。

12/16 企画総務委員会で確認

曲、日本の童謡も取り入れ構成。

コンサートには世界で活躍する国内外の音楽家や生駒の子どもたちが参加します。音楽家の卵を育てるマスタークラス(公開レッスン)と音楽家による小学校での出前コンサート(音楽塾)は2/26,27です。マスタークラス受講オーディションは2/25。詳細は音楽祭のホームページでも紹介中。

(市のホームページのトップページ右側からリンクします。)

私は先人たちが作り上げてきた音楽文化にこの音楽祭も加わり、生駒がさらに心豊かなまちになってほしいと願います。

みなさん、音楽祭をお楽しみください。

音楽祭を育てるために たけまるホール にお越し下さい。



生駒駅から徒歩3分

2月28日(金) 19時～ ガラ コンサート Part1

シューベルトを中心にクラリネットとチェロ、ピアノとバイオリンの曲など多彩

3月1日(土) 19時～ ガラ コンサート Part2

歌曲魔王、冬の旅、むこうむこう、城ヶ島の雨ほか

3月2日(日) 15時～ ファイナル コンサート

生駒中、俵口小、桜ヶ丘小も参加します。

“ガラ”はフランス語で祝祭の意味。公開レッスンはセイセイビルも使用。前売り券発売中(当日券は+500円)

2/20 医療連携専門部会
開催！(病院事業推進委員会)

第2回の今回は地域医療連携に関するアンケート内容を協議。3月に実施予定のアンケートではかかりつけ医や在宅医療、市立病院の取り組みなどを市民と医療機関に尋ねます。無作為抽出で選ばれた2,000人の市民のみなさんや医療機関からたくさんの回答が寄せられればより良い医療連携の構築に繋がります。

編集後記

皮膚科医の私はかつて大病院から“手術は成功したが大きな床ずれが出来てしまった、床ずれの治療をして欲しい”と紹介があり、床ずれのひどさに怒りを覚えたことを思い出します。当時は『包括ケア』という言葉を知りませんでした。今、新たに医療、介護、生活支援など、チームで行う大切さに気付かされています。 まり子